

【 2022 年度 「創発ディスカッション ～気づきの場～」 プログラム 】

■日時 2022年11月12日(土) 9:30開始(受付 9:00~)

■場所 日本工業倶楽部会館 3階

■主旨・目的

多くの事例や多様な人の考えに触れ、考え、議論し、交流や情報交換をすることで、気づきや自身の活動へのヒントを得る学びの場としたい。そして、手掛けている活動を、より発展、継続させてほしい。
また、活動や博報賞をより広く知ってもらう機会としたい。

■テーマ 「子どもが笑顔を見せるとき」

笑顔が見える。 子どもたちの内側から、 こんこんと湧きあがる 笑顔が見える。	誰一人、分け隔てることなく、 新しい学びに目を輝かせ、 ことばで心をつなぎあう。 地域を愛し、誇りに思い、 共に生きる喜びを知って、	押しつけることでは けして生まれない子どもの笑顔を 活動の基軸において、 「子どもたちの未来」を 皆さまとご一緒に考えていきます。
---	--	---

■副題 “自分ごと”の学び

■プログラム

9:00~ 受付(3階)

9:30~10:30 第一部 事例発表、ファシリテーターよりコメント

ただひさ
藤田 忠久 校長 (岐阜県 岐阜市立岐阜小学校)

「地域創造型」の学校を目指す「ふるさと大好き」岐阜小児童の発表・対案

あまい ひろし ほんま ゆたか しばた すみよし
天井 弘 校長、本間 裕 教諭 (新潟県 新発田市立住吉小学校)

子どもとともに学び続ける「じんけん」学習

10:30~10:40 休憩(10分)

10:40~12:00 第二部 グループワーク

12:00~12:30 総括、まとめのご挨拶

12:30~ 昼食(黙食・お持帰り用お弁当をご希望の方は、出欠回答時にお知らせください)

お食事後自由解散

■ファシリテーター

しまの みちひろ
嶋野 道弘 先生(元 文教大学 教授/元 文部科学省 視学官)

か げ まさはる
鹿毛 雅治 先生(慶應義塾大学 教授)

主催：公益財団法人 博報堂教育財団

■グループワークについて

<方向性>

- ・参加者全員が、自身の活動について発言する機会を設ける。
- ・情報を交換し合うことで、それぞれの活動を見つめ、更なる発展に向けた契機とする。

<内容>

- ・1グループ4～5名 ※グループのメンバーは、活動領域・職種混合で設定
- ・各グループ内で、発表とフィードバック、グループ内共有を行う
- ・発表パート（5分×4～5名）＋フィードバックパート（1分×4～5名） 60分
- ・グループ内共有 15～20分

発表パート …持ち時間 **お一人あたり 5分程度**

ご自身の活動について発表。以下 3 つのポイントを交える、或いは強調したいポイントのみでもかまわない。①～③いずれかに関するキーワードも含めて発表いただく。

- ①活動の動機・契機（子どもや地域が抱える課題、背景など）
- ②継続・発展の要因（子どもたちの主体性を引き出すための工夫、活動の継続・発展を可能にした仕組みや体制づくりなど）
- ③今後に向けて予期できる効果（活動の内容の質）
 - ・成果や手応え（子どもの変容、学校や地域も含めた変化など）
 - ・想定外も含めての子どもや社会への効果性
（当初予想していなかった成果や波及効果など）

フィードバックパート …持ち時間 **お一人あたり 1分**

発表者の発言を聴いて各々が感じたこと、気づいたことをメンバー全員がコメントする。また、付箋にコメントを書いて**模造紙 or 発表者の台紙に貼る。**

グループ内共有 …フィードバックパートで付箋を貼り付けた**模造紙 or 台紙**をグループ内で共有する。

<資料配布について>

- ・資料配布は、基本的には不要といたしております。口頭での発表でかまいません。
 - ・当日は、第53回「博報賞」受賞者名簿、第52回「博報賞」活動報告リーフレット（新聞掲載記事風広告を冊子にしたもの）を配布いたします。
 - ・必要があれば、お手持ちのお写真やパンフレットの回覧など、各自でご準備ください。
- ※ご準備については、皆さまのご負担とならないよう、無理のない範囲でお願いいたします。

■会場について

- ※9時開場となります。9時より前には、会館内へお入りいただけません。ご注意ください。
- ※貴重品以外の大きなお手荷物、コートは、1階入り口横のクロークをご利用ください。

■感染症予防対策について

専門家の指導の下、感染症予防対策を施しております。詳細は、別紙「感染症予防対策について」を参照ください。

■服装など

マスクの着用は必須としております。服装については、指定はございません。お気軽にご参加ください。

11/11(金)、12(土)緊急連絡先： 門脇 XXXXXXXXXX (留守番電話あり)